

酒々井町公共下水道事業再々評価 (汚水)

平成 20 年 11 月
千葉県印旛郡 酒々井町



酒々井町の概要



- 千葉県の北部、北総台地に位置する。
- 中世千葉氏の居城がおかれた。
- かつて成田山参拝の宿場町
- 郊外のベッドタウンとして発展
- 町名は“酒の井伝説”に由来する。
(酒好きな父親と親思いの息子の話)



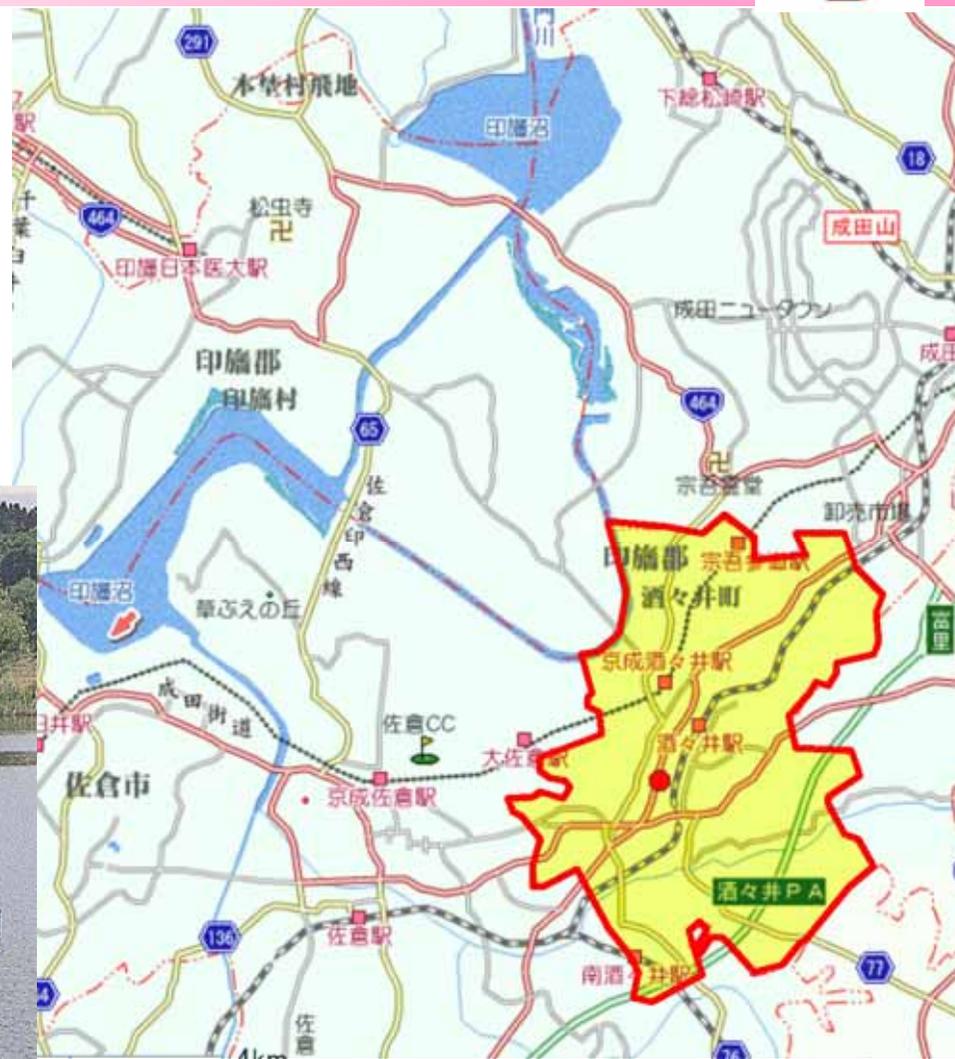
事業の必要性(汚水)



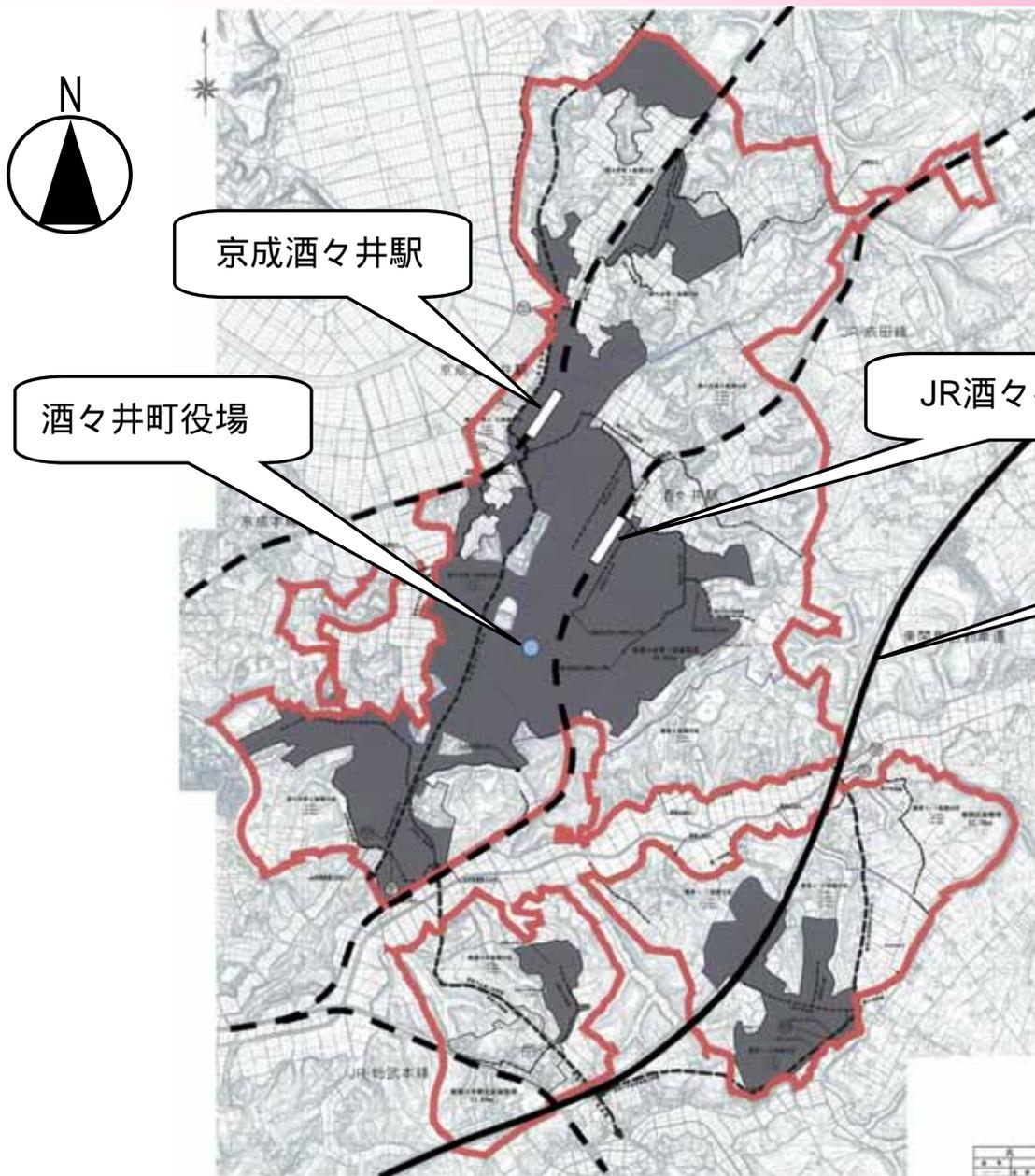
生活環境の改善
公共用水域の水質改善
(印旛沼ほか)
生態系の保全



印旛沼中央排水路(酒々井町隣接)



事業の概要(汚水)



凡例

記号	意味
	下水道計画区域 (再々評価対象区域)
	整備済み区域
	流域幹線

指標1 費用効果分析(汚水)



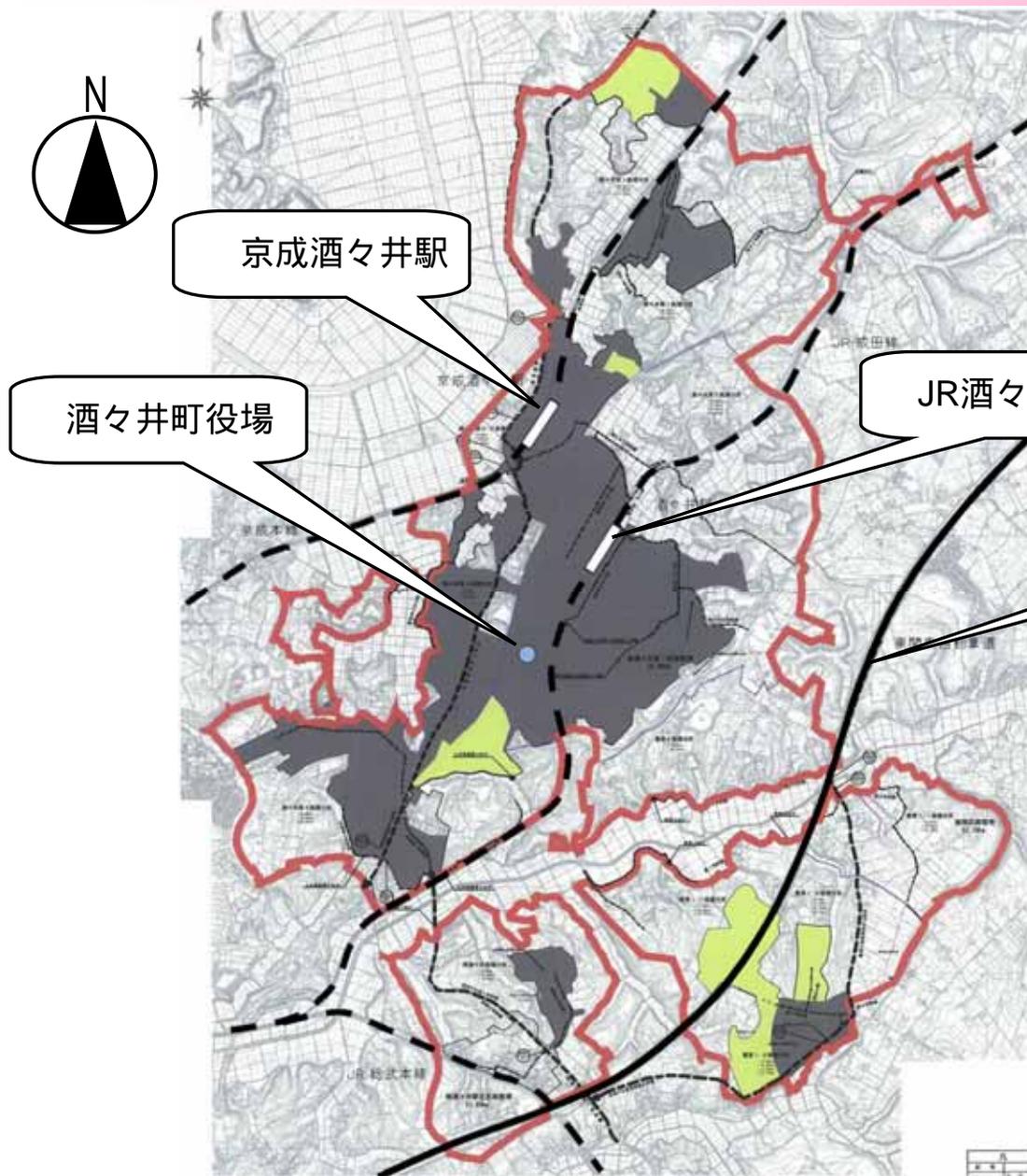
総便益 (B)	1,020億円
総費用 (C)	456億円
費用便益比 (B / C)	2.2

指標2 事業の進捗状況(汚水)



指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画451haに対して378haで、整備率は84%となる。
供用開始区域の接続状況	接続率は97%である。
地元情勢等	酒々井町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(汚水)



凡例

記号	意味
	下水道計画区域 (再々評価対象区域)
	事業着手～平成10年度整備
	平成11～20年度整備

指標3 社会経済情勢等(汚水)



指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定、放流先水域の状況変化等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無 及びその程度	全体計画及び事業計画の見直しは、必要に応じ適切に実施している。

指標4 コスト縮減・代替案(汚水)



指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等の再生資材ならびに改良土の利用等によりコスト縮減に努めている。
代 替 案	本町の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(汚水)案



酒々井町公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

酒々井町公共下水道事業再々評価 (雨水)

平成 20 年 11 月
千葉県印旛郡 酒々井町



酒々井町の概要



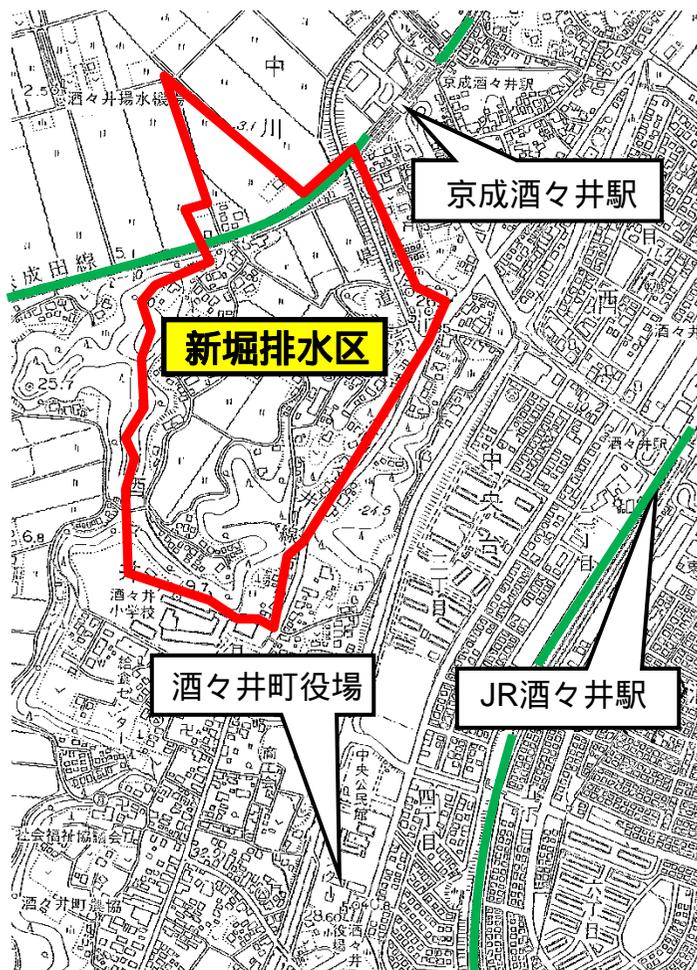
- 千葉県の北部、北総台地に位置する。
- 中世千葉氏の居城がおかれた。
- かつて成田山参拝の宿場町
- 郊外のベッドタウンとして発展
- 町名は“酒の井伝説”に由来する。
(酒好きな父親と親思いの息子の話)



事業の必要性(雨水)

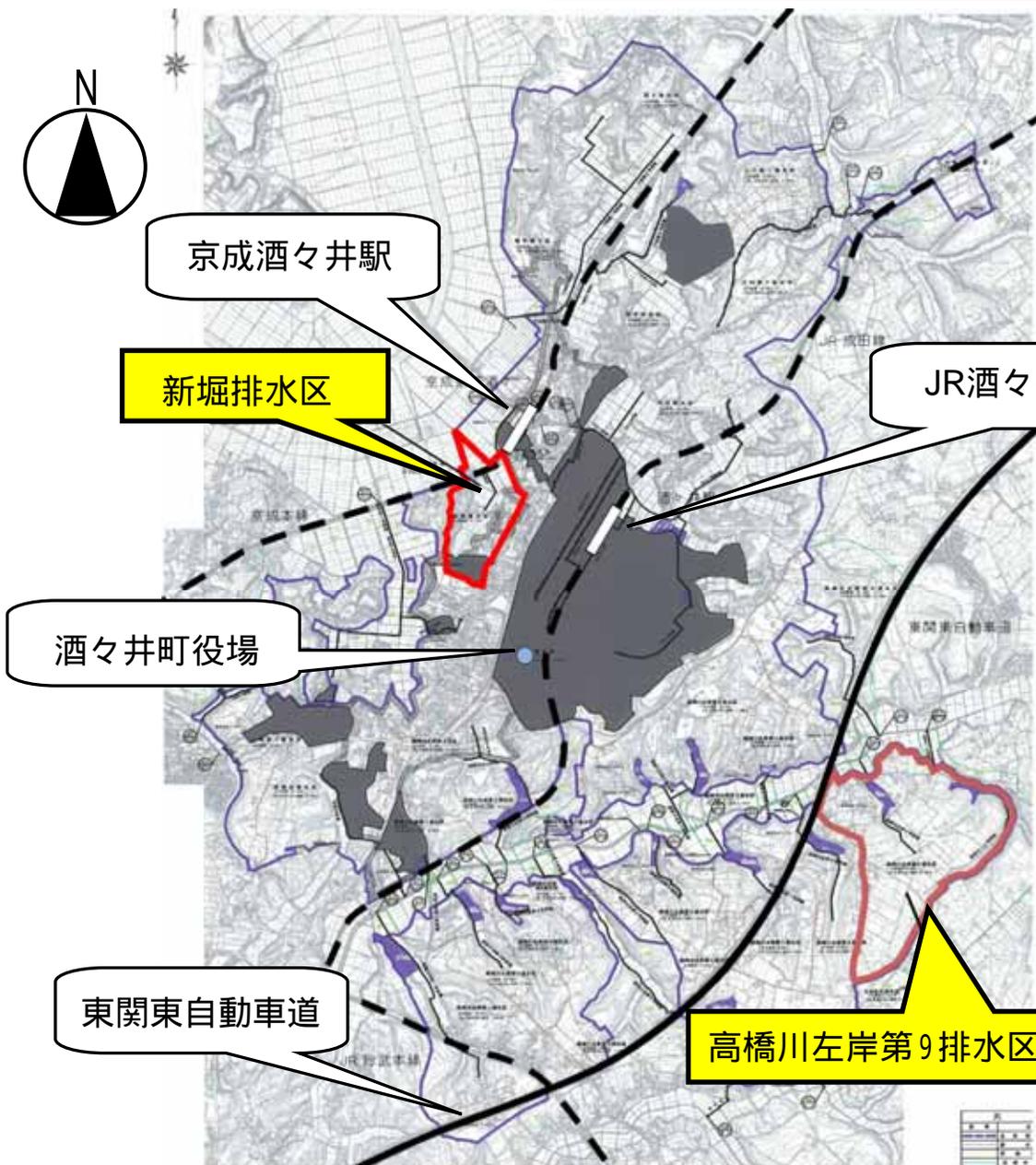


位置図



川と化した町道

事業の概要(雨水)



凡例

記号	意味
	下水道計画区域
	再々評価対象区域
	整備済み区域

指標1 費用効果分析(雨水)



総便益(B)	13 億円
総費用(C)	8.7 億円
費用便益比(B / C)	1.3 ~ 1.6

指標2 事業の進捗状況(雨水)



指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画9haに対して3haで、整備率は33%となる。
地元情勢等	酒々井町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標3 社会経済情勢等(雨水)



指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
計画変更の有無 及びその程度	全体計画及び事業計画の見直しについて、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(雨水)



指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用等によりコスト縮減に努める。

対応方針(雨水)案



酒々井町公共下水道事業(雨水)は、今後
も整備が必要とされることから、当
事業を継続していく方針です。